



**2027年 2 月期
第 2 四半期（中間期）決算報告**

2026年10月14日

株式会社ツインバード 証券コード： 6897

2027年 2 月期 第 2 四半期（中間期）決算 ハイライト

病院向け小型冷蔵庫や半導体製造工場向け金属床材の大幅受注拡大など高収益なB2B事業への転換が計画通り進展したことで、前年同期比10.1%の増収。営業利益・経常利益・中間純利益が大幅改善し第 1 四半期に引き続き 5 年ぶりの黒字化

売上高

46.7億円

（前年同期比 10.1%）

中間期純利益

0.3億円

（前年同期比 +4.6億円）

売上総利益率

31.6%

（前年同期比 +4.4pt）

家電製品事業
セグメント利益*

4.6億円

（前年同期比 +4.7億円）

営業利益

1.1億円

（前年同期比 +5.1億円）

FPSC※事業
セグメント利益*

0.5億円

（前年同期比 +0.3億円）

経常利益

1.0億円

（前年同期比 +5.3億円）

自己資本比率

69.6%

（前期末比 +3.5pt）

※FPSC：フリー・ピストン・スターリング・クーラー *調整額（全社費用 4億円）を除外

目次

1. 2027年2月期 第2四半期（中間期）決算概要

2. 2027年2月期 通期業績予想

3. 2027年2月期 中間配当 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

目次

1. 2027年2月期 第2四半期（中間期）決算概要

2. 2027年2月期 通期業績予想

3. 2027年2月期 中間配当 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

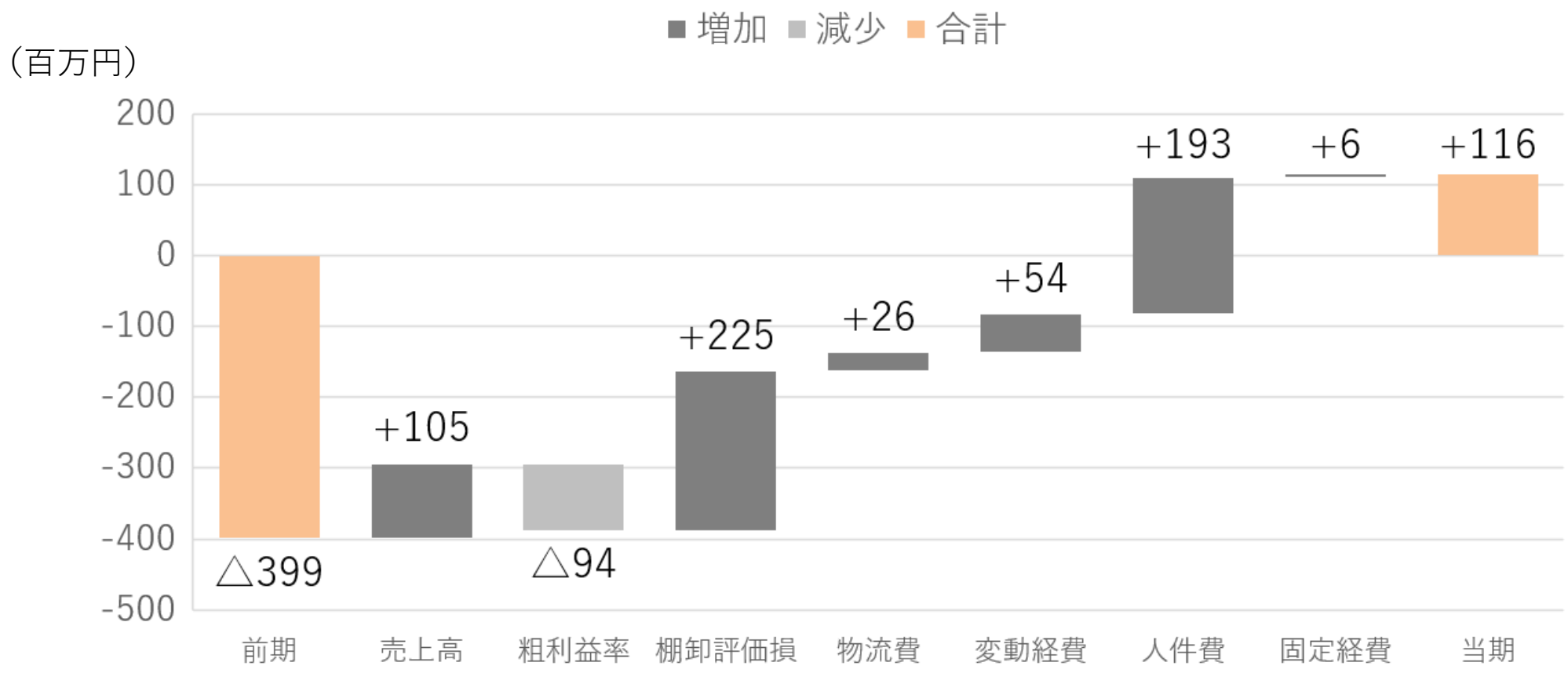
2027年 2 月期 第 2 四半期（中間期） 損益概況

新規販路開拓による増収効果に加え、高収益事業への転換が計画通り進展し、売上総利益は1,479百万円（売上高比31.6%）となり売上総利益率は前年同期比4.4ポイントの改善。販売費及び一般管理費は1,363百万円（売上高比29.1%）、前年同期比△12.4ポイントと大幅改善

単位：百万円	2025年度	2026年度		2026年度 通期 業績予想
	中間期 実績	中間期 実績	前年同期比 差額 増減率	
売上高	4,248	4,677	428 10.1%	9,600
売上総利益	1,155	1,479	324 28.1%	
売上高比	27.2%	31.6%	4.4pt	
販売費及び一般管理費	1,555	1,363	△192 -12.4%	
売上高比	36.6%	29.1%	-7.5pt	
営業利益又は営業損失（△）	△399	116	516 -	100
売上高比	-9.4%	2.5%	-	1.0%
経常利益又は経常損失（△）	△429	108	538 -	75
中間純利益又は中間純損失（△）	△432	32	465 -	45

2027年 2 月期 第 2 四半期（中間期） 営業利益：前年同期比増減の要因分析

①収益性の高い販路・商品へのシフトによる増益、②在庫調整の進展による値引減少、③前期実施の評価損在庫の販売による損失抑制、④固定費の抑制が寄与し、前年同期比+516百万円大幅に改善。第2四半期（中間期）としては5年ぶりの黒字

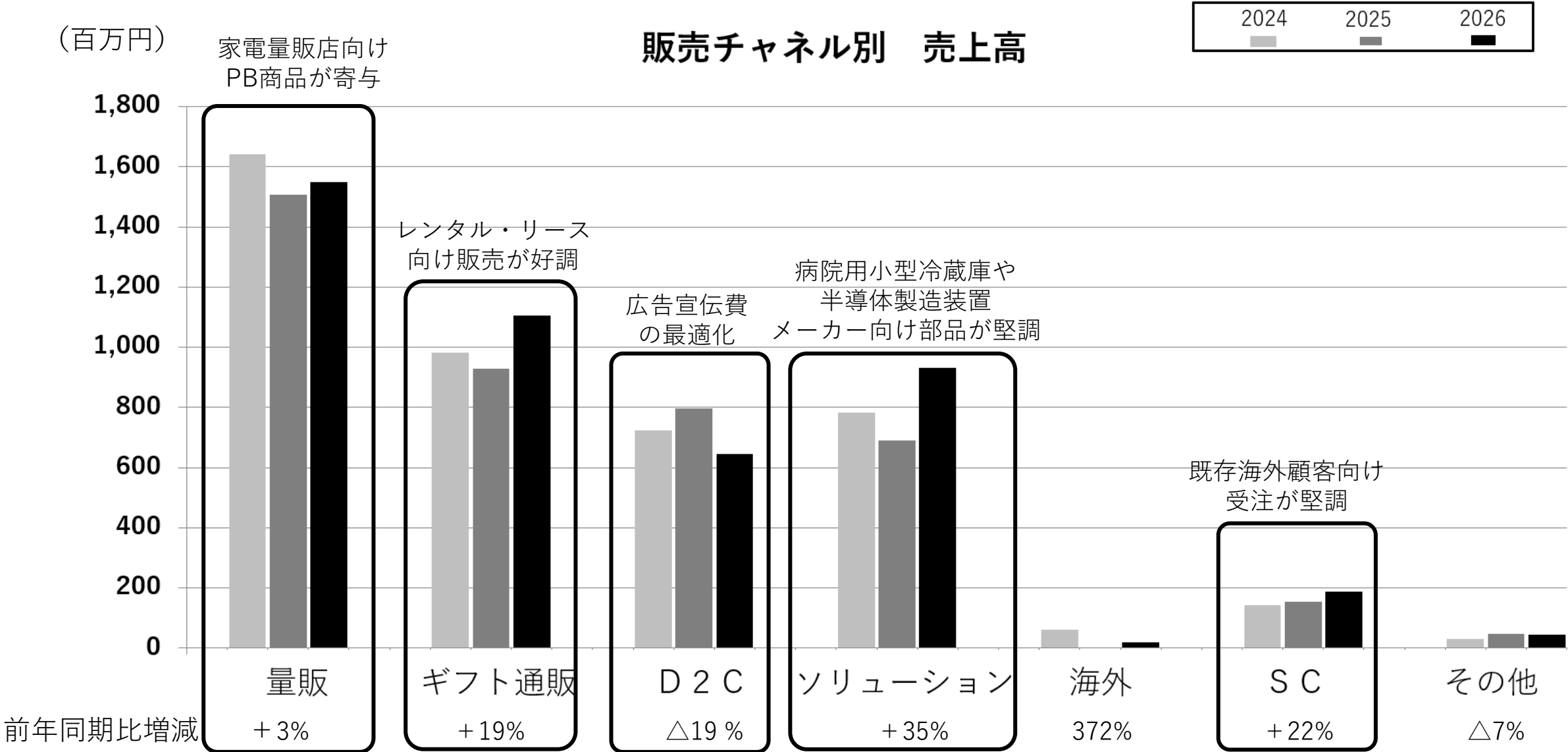


2027年 2 月期 第 2 四半期（中間期） セグメント別業績概況

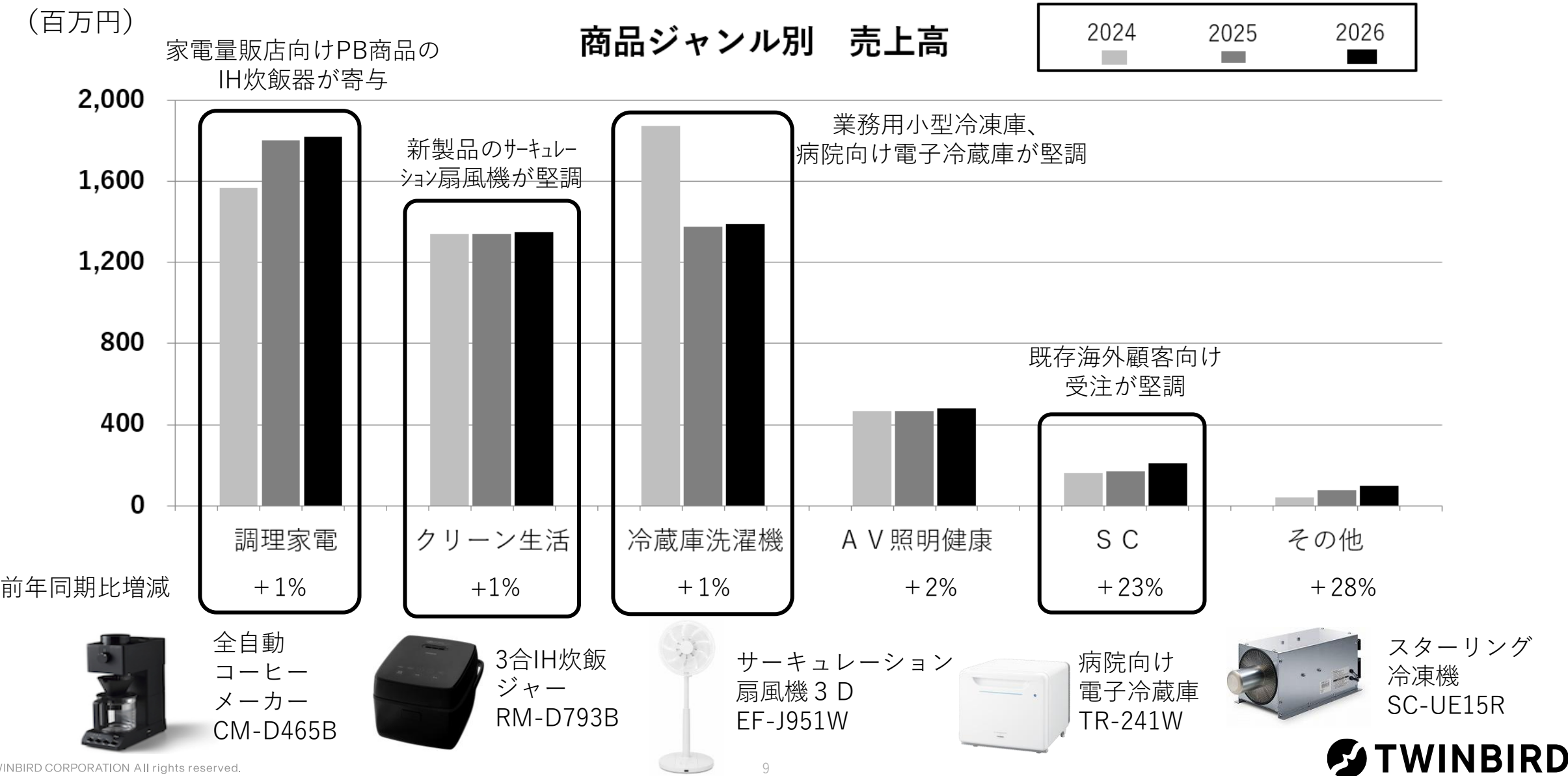
- 家電製品事業は、収益性を重視した事業ポートフォリオへの転換を推進し、半導体関連部品や病院向け小型冷蔵庫案件が伸長。また量販店向けPB製品の納品により、前年同期比9.5%増、セグメント利益は463百万円となり黒字転換。
- FPSC事業は、既存顧客向け受注の伸長に加え、温度校正器向け冷凍機の新規受注を獲得し、売上高194百万円、セグメント利益53百万円と増収増益。医薬・バイオ分野への発売準備とともに、国内外販売網の構築も推進中。

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2025年度 実績	2026年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率	2025年度 実績	2026年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率
家電製品事業	4,092	4,482	390	9.5%	△8	463	472	-
売上高比					-	10.3%	-	
FPSC事業	156	194	37	24.2%	13	53	39	294.6%
売上高比					8.7%	27.6%	+18.9pt	
調整額					△404	△400	4	
全社 計	4,248	4,677	428	10.1%	△399	116	516	-
売上高比					△9.4%	2.5%	+11.9pt	

2027年 2 月期 第 2 四半期（中間期） 販売チャネル別 売上高の推移



2027年 2 月期 第 2 四半期（中間期） 商品ジャンル別 売上高の推移



2027年 2 月期 第 2 四半期（中間期）末 貸借対照表

単位：百万円	2025年度 前期末	2026年度 中間期末	増減
現金及び預金	1,052	756	△295
売上債権	1,193	1,228	34
商品および製品	2,146	2,031	△115
仕掛品	453	433	△20
その他	789	832	43
流動資産 計	5,636	5,282	△354
有形固定資産	3,417	3,253	△163
無形固定資産	467	396	△71
投資その他資産	409	397	△12
固定資産 計	4,294	4,047	△247
資産 合計	9,931	9,330	△601

	2025年度 前期末	2026年度 中間期末	増減
買掛金	185	203	17
短期借入金	1,200	850	△350
1年内返済予定長期借入金	390	275	△115
長期借入金	480	400	△80
その他	1,108	1,112	3
負債 合計	3,364	2,840	△523
資本金	100	100	-
資本剰余金	5,049	5,049	-
利益剰余金	1,289	1,213	△76
その他	127	126	△1
純資産合計	6,567	6,489	△78
負債 & 純資産合計	9,931	9,330	△601
自己資本比率	66.1%	69.6%	3.5pt

2027年 2 月期 第 2 四半期（中間期） キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2026年度	2025年度	増減
税引前当期純利益	54	△430	484
減価償却費	181	190	△9
売上債権の増減額	△34	688	△723
棚卸資産の増減額	116	△641	757
仕入債務の増減額	17	18	0
その他	△78	253	△331
営業 C F	256	79	177
固定資産の取得による支出	△80	△62	△18
固定資産の売却による収入	140	0	140
投資有価証券の売買額	52	0	52
その他	0	0	0
投資 C F	112	△61	173

	2026年度	2025年度	増減
短期借入金の増減額	△350	△350	0
長期借入金の増減額	△195	605	△800
リース債務の返済額	△15	△22	6
配当額の支払額	△109	△109	0
その他	△0	0	0
財務 C F	△669	123	△793
フリーキャッシュフロー*	369	17	351
現金等の換算差額	5	0	5
現金等の増加額	△295	141	△437
現金等の期首残高	697	255	441
現金等の期末残高	401	396	4

*フリーキャッシュフロー＝営業CF＋投資CF

目次

1. 2027年2月期 第2四半期（中間期）決算概要

2. **2027年2月期 通期業績予想**

3. 2027年2月期 中間配当 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2027年 2 月期 通期業績予想（2026年 4 月14日公表値から変更なし）

- 家電製品事業は、病院向け小型冷蔵庫（通期売上見込み490百万円、前期比49.7％増）及び半導体製造装置メーカー向け金属床材（同350百万円、前期比193.3％増）の拡大を軸にB2B事業を強化。あわせてコーヒー関連の戦略的新製品の投入や量販店向けPB炊飯器の大型案件獲得により、家庭用冷蔵庫・洗濯機事業縮小による減収を補完しながら、収益性向上と事業基盤の強化を推進。
- FPSC事業は、-86℃可搬式小型フリーザーボックスを11月に発売し、国内の製薬企業・研究機関向け販売を強化するとともに、欧州・韓国・インド・インドネシアでの販路開拓や販売代理店網の構築を進める。医薬・バイオ向け超低温ソリューション事業への展開を加速し、中長期的な成長基盤の確立を図る。

単位：百万円	2025年度	2026年度		
	通期 実績	通期 業績予想	前期比 差額	増減率
売上高	8,998	9,600	602	6.7%
営業利益	△855	100	955	－
売上高比	－	1.0%	－	
経常利益	△896	75	971	－
当期純利益	△1,218	45	1,263	－

目次

1. 2027年2月期 第2四半期（中間期）決算概要

2. 2027年2月期 通期業績予想

3. 2027年2月期 中間配当 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2027年 2 月期 中間配当

【当社株主還元施策の基本的考え方】

- 当社は業績を向上させ財務体質の強化を図ることで、安定的かつ持続可能な株主還元（配当・自己株式取得）を行うことを基本方針としています
- 新 中期経営計画 2026-2030期間は累進配当と自己株式取得により、75%～100%の総還元性向を目指します
- 配当については、配当性向及びDOEを基準とし、累進配当を行うものとしています
- 自己株式の取得については、資本効率向上などを目的として、経営環境、業績動向、並びにフリー・キャッシュ・フローや財務レバレッジの水準、将来の事業資金需要の見通しなどを総合的に考慮し、適切な時期に機動的に実施します

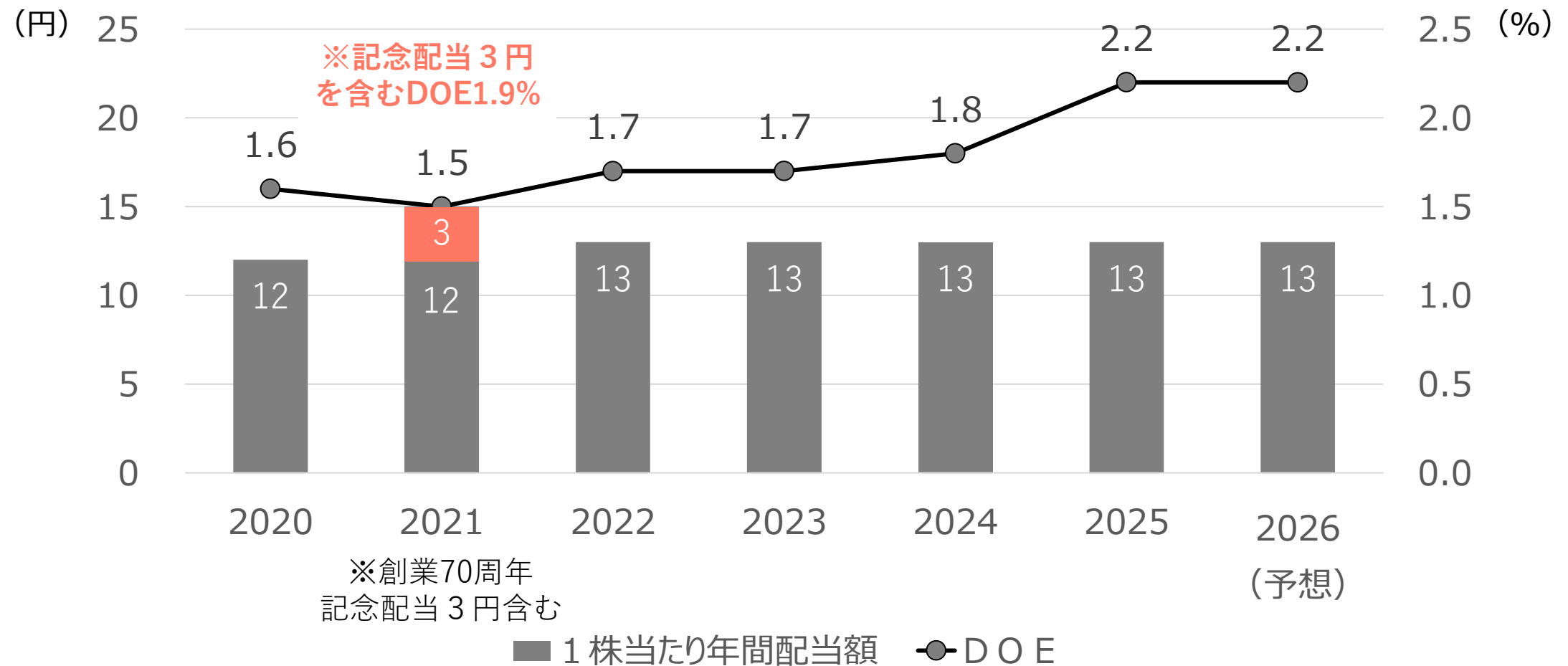


第65期（2026年3月1日～2027年2月28日） 中間配当

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| 1. 中間配当金 | 当社普通株式 1 株当たり 3 円 |
| 2. 支払総額 | 32,718,498円 （株式数10,906,166株 × 3 円） |
| 3. 配当の効力が生じる日 | 2026年11月17日 |

1株当たり年間配当額、純資産配当率（DOE）

中間配当は当初予想どおり1株当たり3円を支給
年間配当は1株当たり13円（中間配当3円、期末配当10円） DOEは2.2%を予想



目次

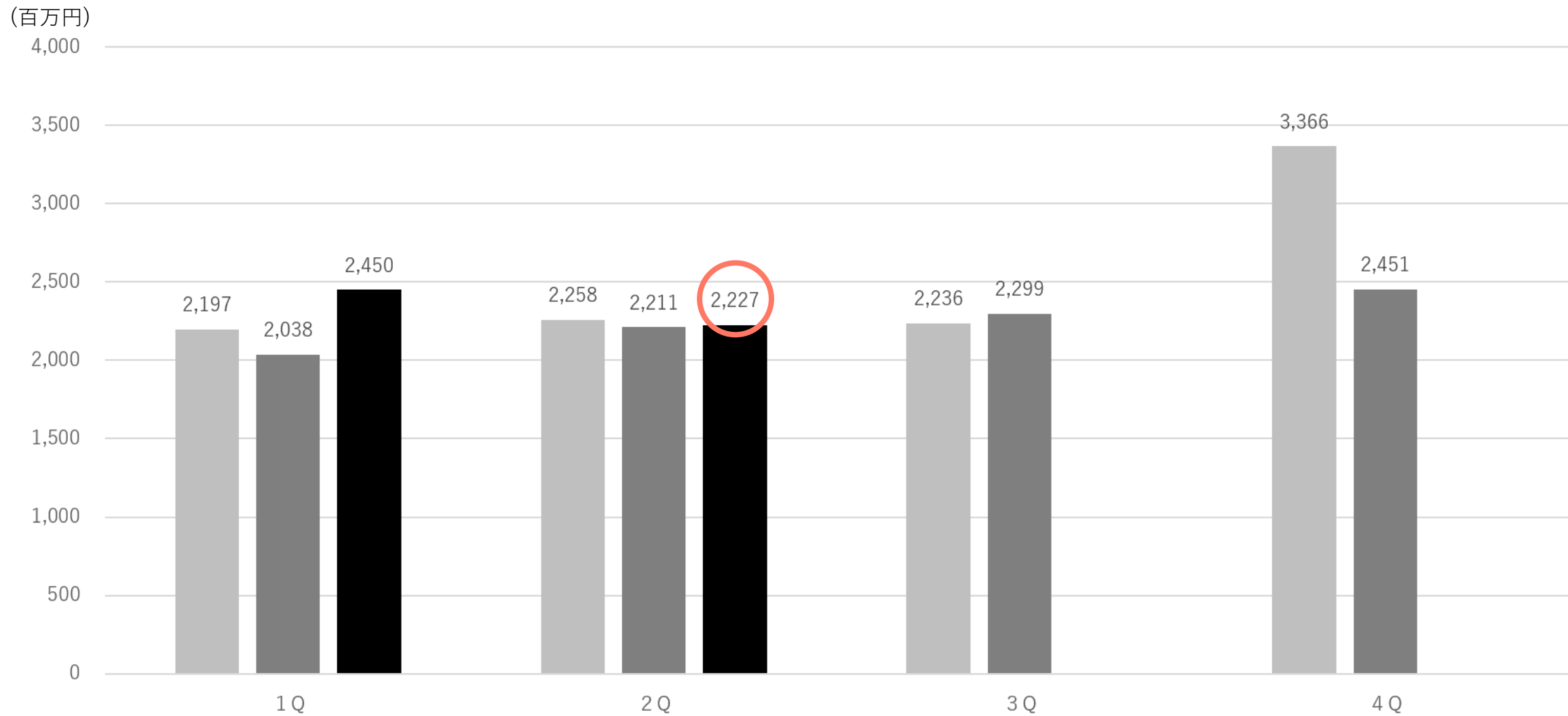
1. 2027年2月期 第2四半期（中間期）決算概要

2. 2027年2月期 通期業績予想

3. 2027年2月期 中間配当 年間配当予想

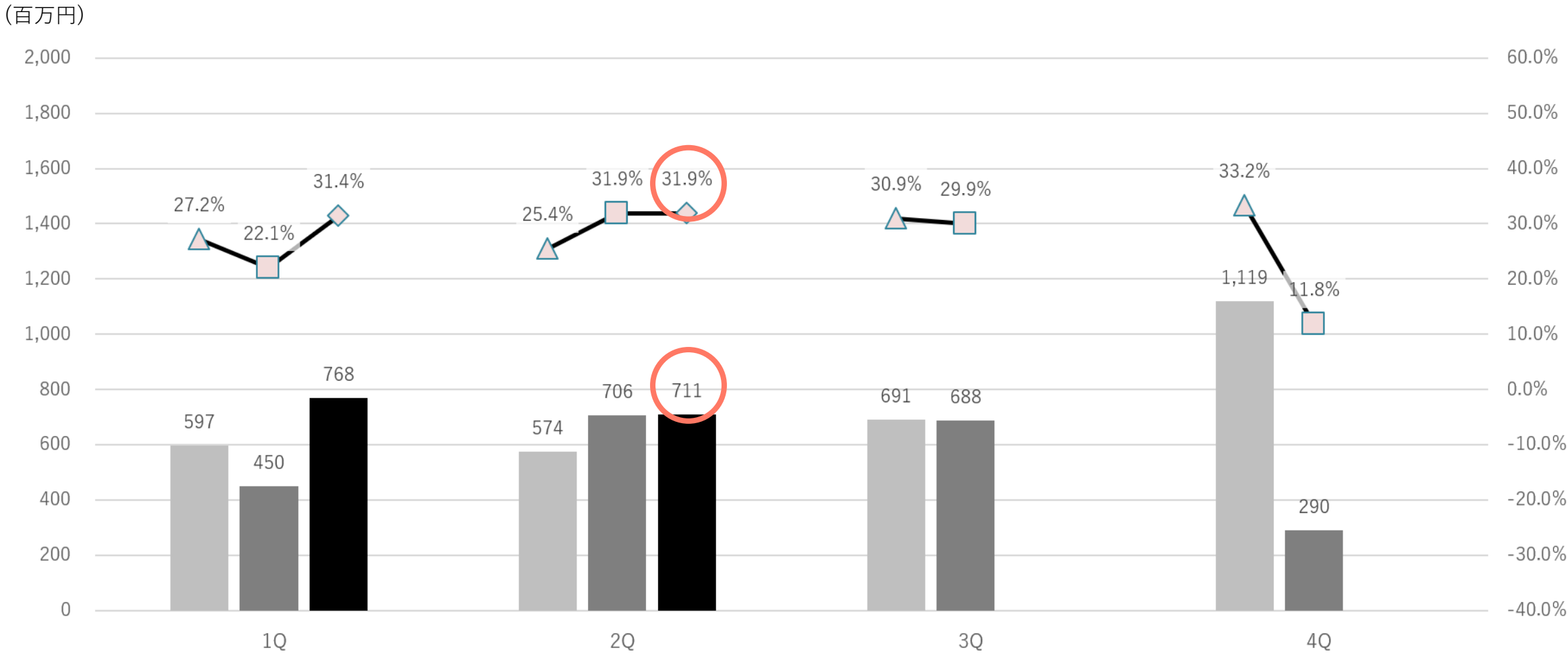
補足資料：四半期別業績数値

四半期別業績数値 純売上高

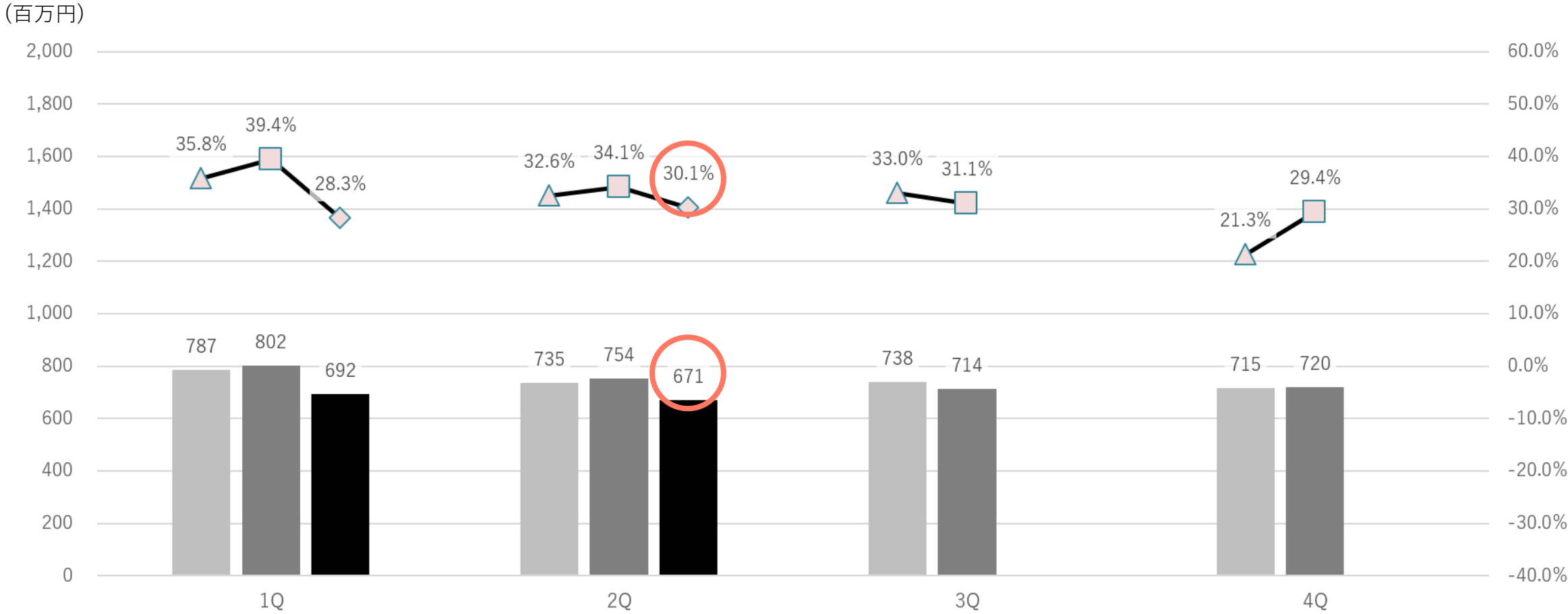


四半期別業績数値 売上総利益

前々期	前期	当期



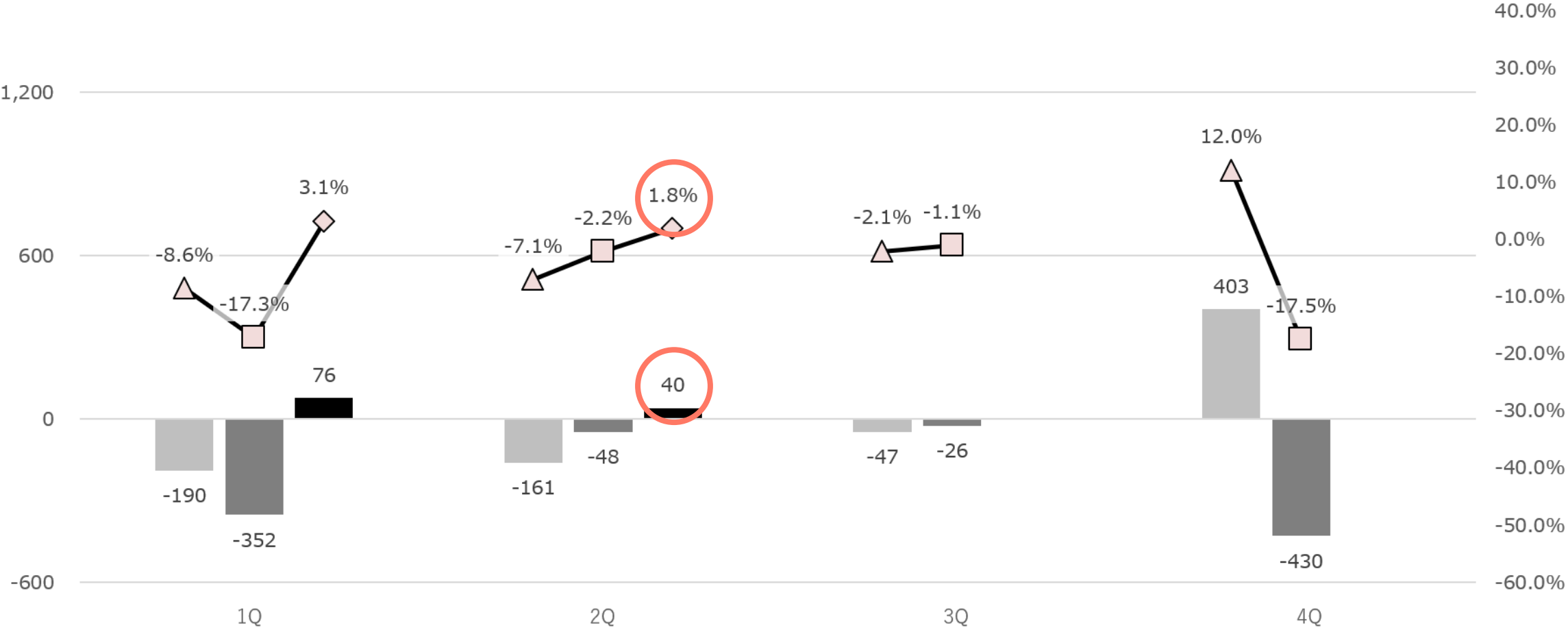
四半期別業績数値 販売費及び一般管理費



四半期別業績数値 営業利益

前々期	前期	当期

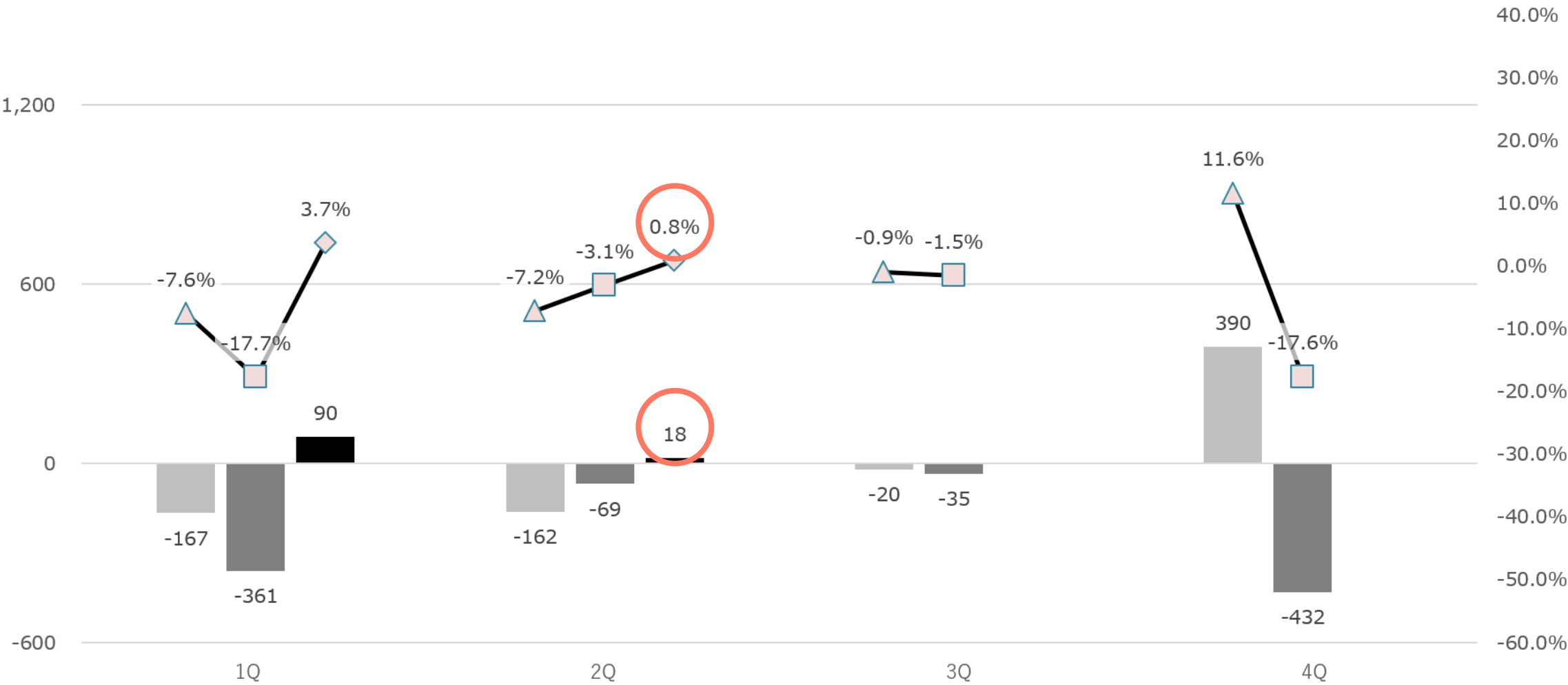
(百万円)



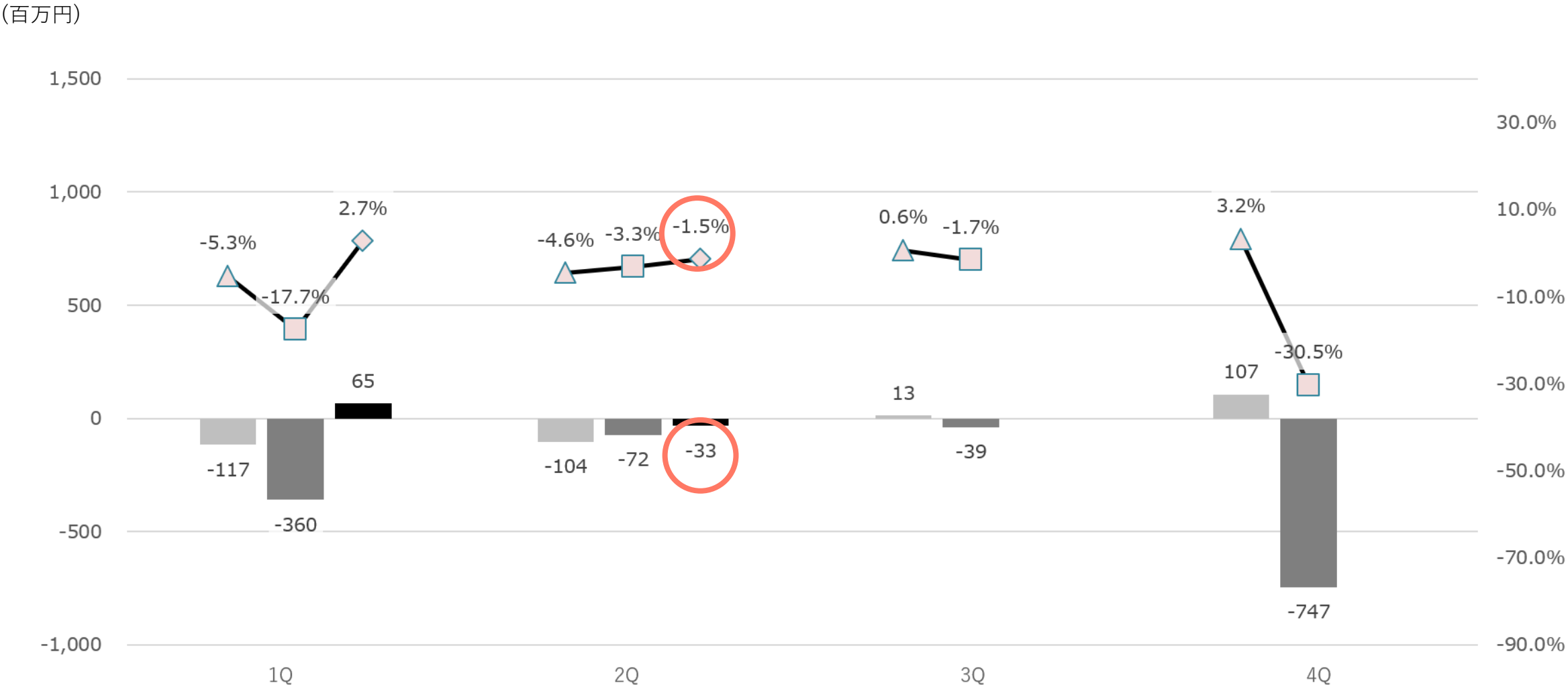
四半期別業績数値 経常利益

前々期	前期	当期

(百万円)



四半期別業績数値 四半期純利益





TWINBIRD